取扱説明書

本製品をご使用前に取扱説明書をよくお読みくださいますようお願い申し上げます。

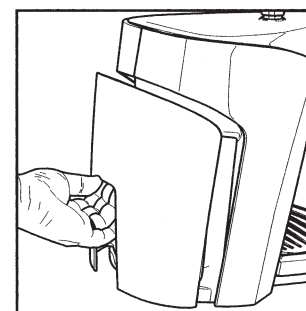
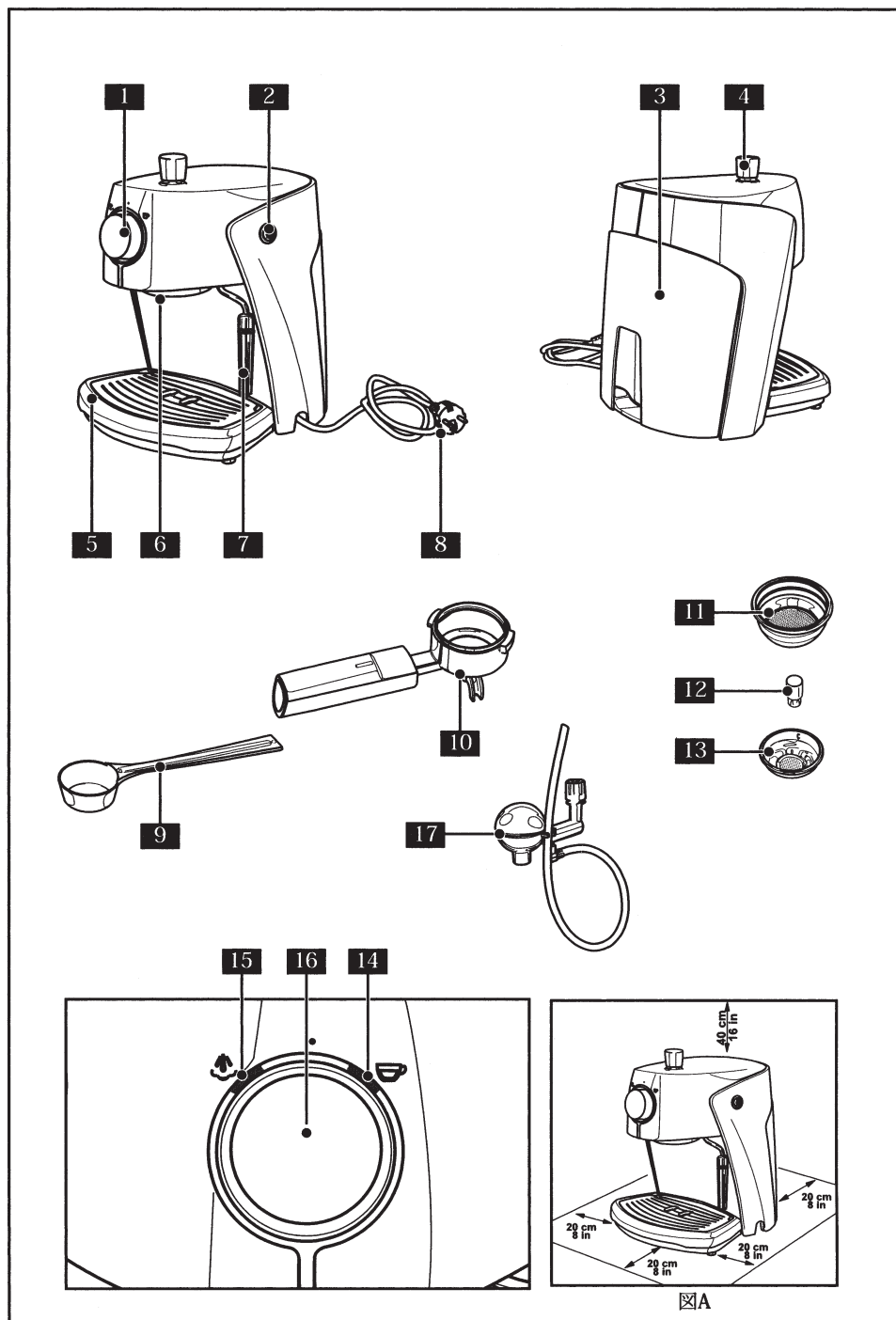
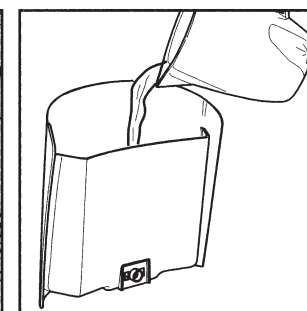
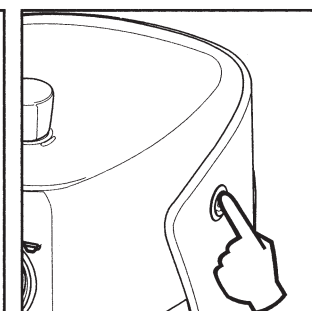
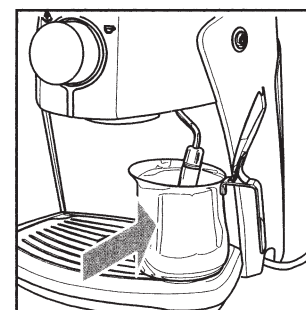
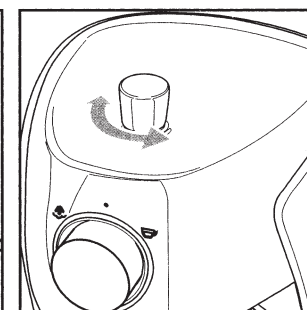
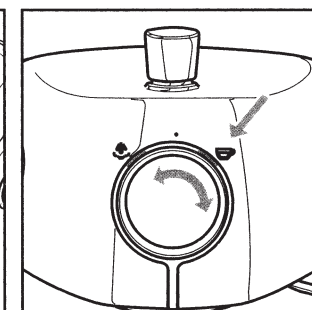
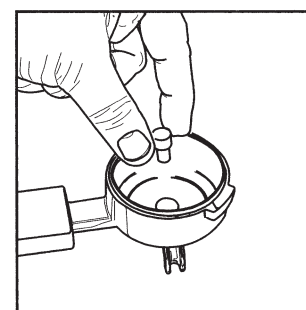
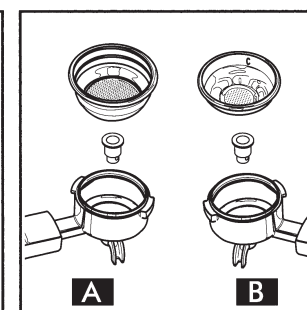
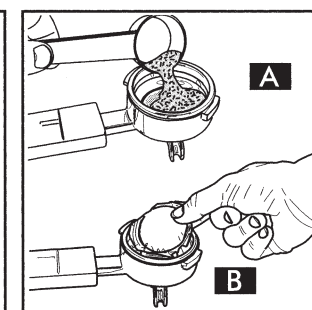
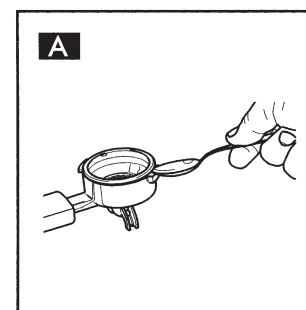
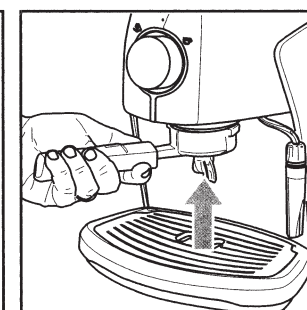
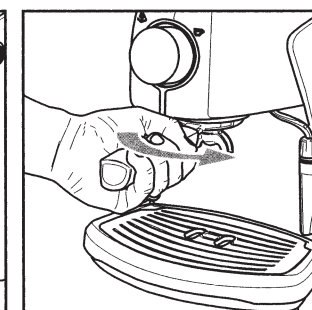
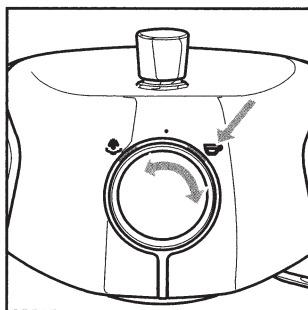
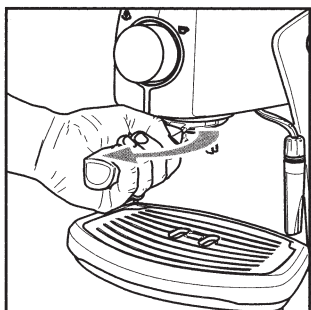
Ideas with Passion

1 2 3 4
5 6 7 8
11
10
12
13
9
17
15 16 14
40 cm 16 in
20 cm 8 in
20 cm 8 in
20 cm 8 in
20 cm 8 in
図A

図1
図2
図3
図4
図5
図6
図7
A B
図8
A B
図9
A
図10
図11
図12

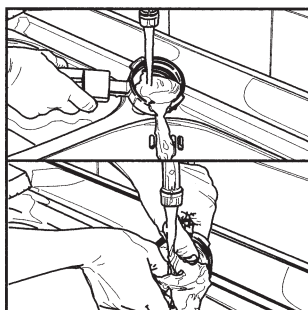
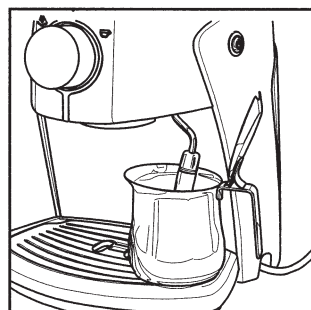
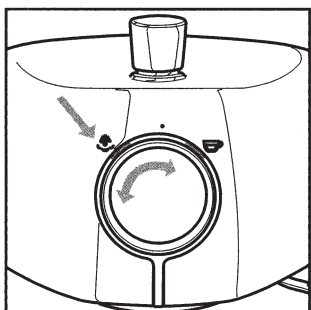
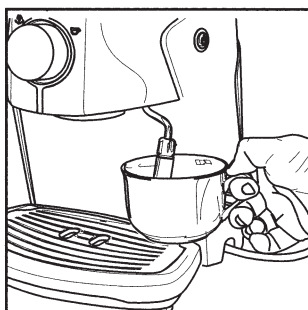
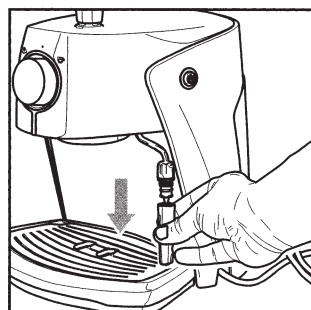
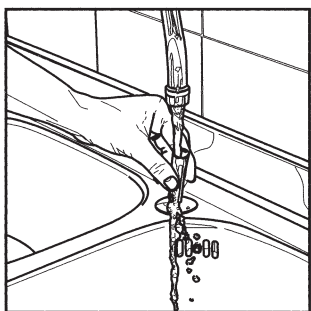
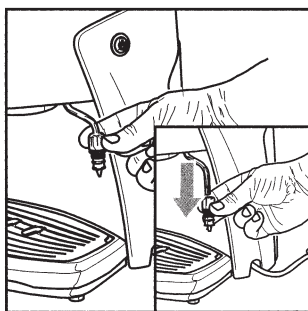
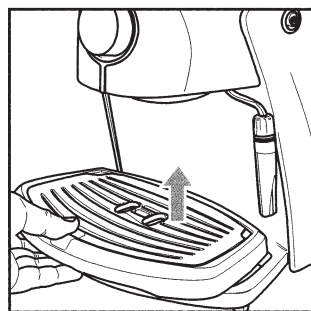
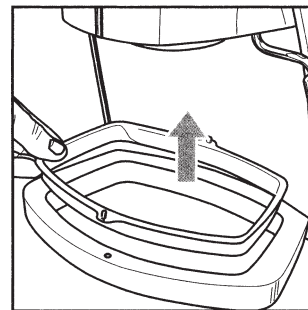
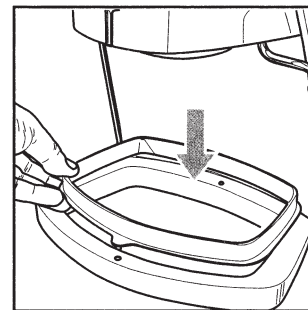
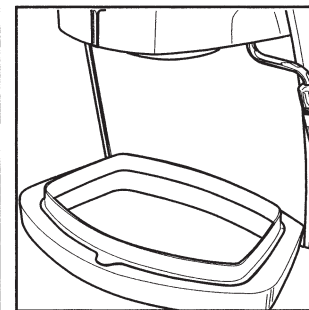
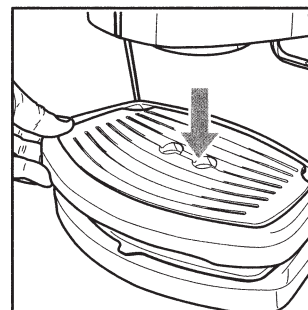
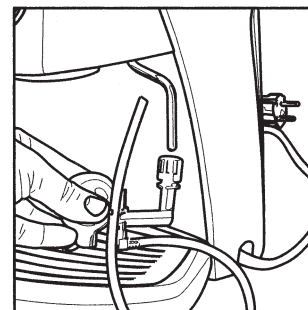
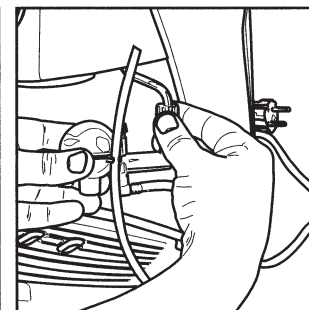
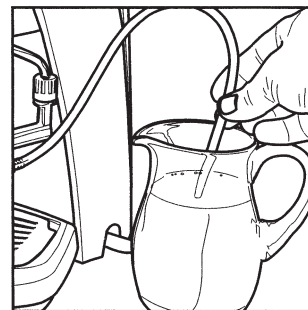
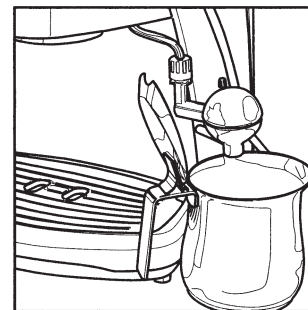
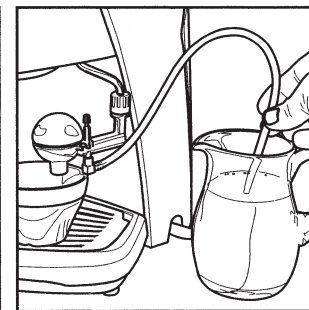
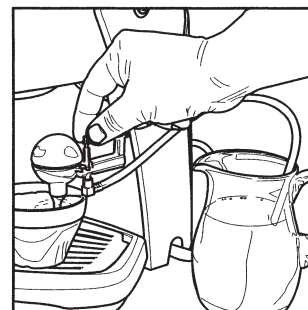
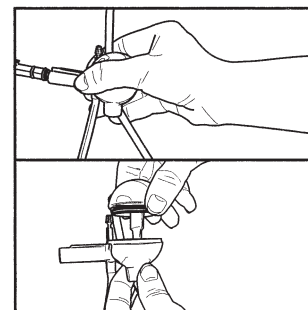
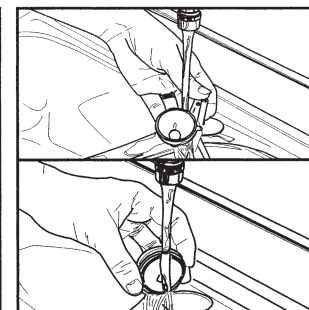



図13
図14
図15
図16
図17
図18
図19
図20
図21
図22
図23
図24
図25
図26
図27
図28
図29
図30
図31
図32
図33
図34
図35
図36

1　一般的な情報

本製品は1杯または2杯のエスプレッソコーヒー抽出、またミルクを泡立てるためのスチームや給湯を供給するための製品です。 製品正面のコントロールパネルは分かりやすいマークによって表示しています。
本製品はご家庭でのご使用のためにデザインされています。業務用製品として連続使用することには適しておりません。

警告！ 弊社は以下に記載した原因による損害は責任を負いかねます。

- 本来の目的に反したご使用による場合。
- 修理が弊社指定のサービスセンターで行われなかった場合。
- 電源コードを改ざんされた場合。
- 本製品のどこかを改ざんされた場合。
- オリジナルではないスペアパーツや付属部品を使用された場合。
- 除石灰作業を行わなかった場合や、本製品を0℃以下の環境で使用、もしくは保管された場合。

これらの場合、保証は無効となりますので、あらかじめご了承ください。

1.1　安全上のご注意

三角形を用いたマークはお使いになる方の安全のために重要な情報を示しています。お客様の被害や損害を防ぐために、必ず従ってください。

マシンの一部やコントロールパネルなどのイラストを本取扱説明書の最初のページに記載しています。説明書本文に数字が記載されている場合は、その数字のイラストを参照してください。

このマークは本製品のよりよいご使用のために、弊社が推奨する重要な情報を記載しています。

本文で記載した動作を説明するためのイラストを本取扱説明書の最初のページに掲載しています。取扱説明書を読む間に、まずこのページをご覧ください。

1.2　本取扱説明書のご使用方法

本取扱説明書は、すぐに取り出せるところに保管し、本製品をご使用になる全ての方がご覧になれるようにしておいてください。
また、ご不明な点は弊社の技術・流通センター（TEL：050-5525-7025）までご連絡ください。

2　仕様

意匠、仕様など改良のために予告なく変更することがあります。

項目	内容
電源	本製品に貼付されているシールをご確認ください。
マシンボディ素材	プラスチック
サイズ(w ×h × d)(mm)	270 × 350 ×300
重量	4 kg
コードの長さ	1.2 m
コントロールパネル	正面
フィルターホルダー	加圧型
パナレロ	特殊構造型
水タンク	1.5リットル - 取り外し可能
ポンプ圧	15気圧　(抽出時は9気圧)
ボイラー	ステンレス　スティール
安全装置	温度ヒューズ

3　安全規定

電源プラグを水に浸さないでください。回線がショートする恐れがあります。
またスチームとお湯の使用はヤケドをする恐れがあります。身体に向けてスチーム給湯ノズルを向けないでください。スチーム・給湯ノズルは十分ご注意の上、ご使用ください。

使用目的

本製品はご購入いただいた国内でのみ、ご使用ください。
改造をしたり、不法な目的のためにマシンを使わないでください。心身ともに健康な成人によって、もしくはその方が監督者となってご使用ください。

電源

本製品は「15A　125V」と記された壁面のコンセントから直接お取りください。 また電源は交流100Vをご使用ください。

電源コード

電源コードに損傷がある場合は本製品を使用しないでください。 万が一、損傷した場合は弊社技術・流通センターへご連絡の上、新しいものをご購入ください。
電源コードは、鋭角な角や何か尖ったものに当たらないように、また熱源や油の近くでは使用しないでください。
電源プラグを抜くときはコードを持たずにプラグを持って引き抜いてください。また差し込む時は根元までしっかりと差し込んでください。それらは濡れた手では決して行わないでください。
電源コードをテーブルまたは棚から垂らすことのないようにしてください。

子供の使用

子供など、取扱いに慣れていない人だけで使用したり、乳幼児などの手の届くところで使用しないでください。

ヤケドの危険

ご自身や、または他の方にスチーム・給湯ノズルを向けないでください。 また向きを変えるときは常に黒いプラスチックの部分を持ち、操作してください。
コーヒーを抽出中にフィルターホルダーを外さないでください。
お湯がフィルターホルダーから噴出する恐れがあります。

設置場所

本製品は平らで安定した場所、誰も倒す心配のない場所に置いてください。
お湯やスチームの使用時にはヤケドをする恐れがあります。十分ご注意の上、ご使用ください。
本製品を0℃以下の場所に保管をしないでください。製品内部に残っている水が凍結し、破損する恐れがあります。
屋外では本製品を使用しないでください。
本製品は高温ガス、電気コンロの上や近く、熱したオーブンなどの近くには置かないでください。

クリーニング

本製品をクリーニングする場合は、必ず電源をOFFにし、またコンセントから電源コードを外してください。その後、製品が冷めてから行ってください。
またマシンを水に浸けたり、水をかけないようにしてください。
製品の分解・改造は絶対にしないでください。
水タンクに数日間溜まった水は使用しないでください。ご使用後は毎日水 タンクを洗って乾かし、使用する日ごとに新鮮な飲料水を入れてください。

設置スペース

本製品が適切に効率的に作動するために、以下の記載に従ってください。

- 平らな場所を選んで置いてください。
- 万が一の場合に、すぐにコンセントに手が届き、埃が溜まりにくい場所に置いてください。
- 図Aの記載のとおり、マシンの側面・背面からスペースをお取りください。

マシンの保管

本製品を長期間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから外してください。
外した電源コードは塵や埃から保護した上で、子供の手の届かない乾燥した場所で保管してください。

修理／メンテナンス

もし本製品に故障や破損、または落下後に破損が予想される場合は直ちに電源プラグをソケットから外してください。故障した製品は絶対に使用しないでください。
また修理は弊社指定のサービスセンター、もしくは弊社技術・流通センターにて承ります。それ以外で修理が行われた場合、いかなる不具合が起きても弊社は損害賠償には一切応じかねます。

火災の場合

万が一、火災が起きた場合には二酸化炭素(CO_2)消火器をご使用ください。水や粉末の消火器を使用しないでください。

各部の名称（2ページ参照）

1　コントロールパネル
2　電源ボタン
3　水タンク
4　スチーム・給湯ノブ
5　ドリップトレイ＆目皿
6　コーヒー抽出口
7　スチーム・給湯ノズル（パナレロ）
8　電源コード
9　粉末コーヒー用スプーン
10 フィルターホルダー
11 粉末用フィルター(1杯分/2杯分併用)
12 抽出ピン
13 ポッド用フィルター
14 コーヒー温度ランプ "準備完了"
15 スチーム温度ランプ
16 抽出ダイヤル
17 カプチナトーレ

4　設置

ご使用になる方と他の方々の安全のために、項目3に記載している「安全規程」に従ってください。

4.1　梱包

オリジナルの梱包資材は、輸送の最中に製品を保護するために制作しています。修理依頼などのために梱包資材を保管しておくことをお勧めします。

4.2　設置の手順

本製品を設置する前に、下記の安全に関する取扱説明をよくお読みください。

・マシンを安全な場所に置いてください。

・子供が本製品で遊ぶことのないようにご注意ください。

・マシンを熱源、または火の近くに置かないでください。

製品を電源と接続する準備が整いました。

i 注意：製品を初めて使用する場合、また一定期間使用されなかった場合は各部品を洗浄してからご使用ください。

4.3　製品の接続

⚠ 電力使用は危険を伴います。安全規則に従ってください。
損傷した電源コードは絶対に使わないでください。
万が一、損傷した場合は速やかに弊社指定のサービスセンター、弊社技術・流通センターで取り替えてください。

製品の電圧はメーカーによって、あらかじめ設定されています。電圧が製品の底にあるシールと一致していることを確認してください。

・製品を電源と接続する前に、電源ボタンが必ずOFFであることを確認してください。

・電源は「15A　125V」と記載(刻印)されている壁面のコンセントから直接お取りください

4.4　水タンク

・(図1)－水タンク(3)を取り外してください。

・(図2)－水タンクをすすぎ、新鮮な飲料水を入れます。(MAX：縁から2cm程度下まで)

・(図1)－元の場所にセットしてください。

⚠ 水タンクには新鮮な飲料水を入れてください(発泡水は入れないでください)。お湯など、その他の液体は決して入れないでください。また水タンクが空の状態で製品の電源を入れないでください：水タンクの中に十分な水があるのを確認してください。

4.5　空気抜き

長期間、製品を使用しなかった場合や、スチームを使用した後、製品を再始動させるために必要な作業です。

・(図3)－電源ボタン(2)を押してください。
・(図4)－スチーム・給湯ノズルの下に何か容器を置きます。
・(図5)－スチーム・給湯ノブ(4)を左に回してノブを開いてください。
・(図6)－抽出ダイヤル(16)を「""」位置に回します。
・ スチーム・給湯ノズル(パナレロ)から、お湯が安定して出てくるまでお待ちください。
・(図6)－抽出ダイヤル(16)を「"●"」位置に戻します。
・給湯・スチームノブ(4)を右に回して、ノブを閉じてください。 容器を外します。

製品は動作準備ができました。続けて、コーヒー抽出に関連した項目をご覧ください。

4.6　ドリップトレイの高さ調節

ドリップトレイはカップサイズによって調節することができます。
ドリップトレイの高さ調節をするためには、次の通り行ってください。

・(図24)－ドリップトレイを取り外して、目皿を外します。

・(図25)－ドリップトレイの下のサポートを製品から取り外します。

・(図26 - 27)－サポートをひっくり返し、製品の土台に差し込みます。

・(図28)－ドリップトレイをサポートの上に置き、目皿を乗せてください。

5　コーヒー抽出

⚠ 警告！ コーヒー抽出の最中、フィルターホルダーを左に回さないでください。脱落してヤケドをする可能性があります。

・この操作の最中、コーヒー温度ランプ(14)は点滅することがあります。；これは故障ではなく正常な状態です。
・製品を使用する前にスチーム・給湯ノブ(4)が閉まっており、水タンクの中に十分な水があることを確認してください。
・(図3)－電源ボタン(2)を押します。
・コーヒー温度ランプ(14)が常に点灯するまでお待ちください。
点灯：コーヒー抽出の準備ができました。

5.1　粉末コーヒーから抽出する

・(図7)－抽出ピン(12)をフィルターホルダー(10)の穴に挿してください。
・(図8A)－粉末用フィルター(11)をフィルターホルダー(10)にセットします。
・(図11)－コーヒー抽出部(6)にフィルターホルダーをはめてください。
・(図12)－フィルターホルダーをこれ以上回らないところまで、左から右へ回してください。(持ち手は、ほぼ前面にきます)
・(図14)－少量の水がフィルターホルダーから出てくるまで、抽出ダイヤル(16)を""の位置に回してください。こうすることによりフィルターホルダーを温めます。最初にコーヒー抽出する際には、この作業を行うことをお勧めします。
・50cc程度の水が抽出された時、抽出をやめるために、抽出ダイヤル(16)を"●"の位置に戻してください。
・(図16)－フィルターホルダーを右から左に回して、マシンから外してください。そしてフィルターホルダーに残った水を捨てます。抽出のために、粉末用フィルター(11)を交換する必要はありません。
・(図9A)－一杯のエスプレッソ(コーヒー)のためには、付属の粉末コーヒー用スプーンで1～1.5杯、２杯のエスプレッソ(コーヒー)のためには、２杯分の粉末コーヒーを入れます。フィルターの縁についたコーヒーはきれいに拭き取ってください。
・(図11)－抽出部(6)へフィルターホルダー(10)をはめてください。
・(図12)－フィルターホルダーをこれ以上回らないところまで、左から右へ回してください。(持ち手は、ほぼ前面にきます)
・(図13)－あらかじめ、温めておいた１つもしくは、２つのカップをフィルターホルダーの下に置きます。カップが抽出穴の下に正しく置かれていることを確認してください。
・(図14)－抽出ダイヤル(16)を""の位置に回します。
・お好みのエスプレッソ(コーヒー)の量が抽出されたら、抽出を止めるために抽出ダイヤル(16)を"●"の位置に戻してください。抽出が終わった後、数秒待ってからコーヒーのカップを外します。(図15)
・(図16)－フィルターホルダーを左に回して取り外し、コーヒーカスを空にしてください。

i 注意：少量の水がフィルターホルダーに溜まっている場合があります。；これは故障ではなく正常な状態です。

i 注意　クリーニングのために：フィルターホルダーをマシンから取り外し、飲料水(図17)で洗います。フィルターホルダーと抽出ピン、粉末用フィルターを綺麗に水洗いしてください。

5.2　ポッドコーヒーから抽出する

・(図10)－スプーンなどを使って、フィルターホルダー(10)の中の粉末用フィルターを取り外します。抽出ピンは挿入した状態にします。

注意：小さな部品ですので、紛失しないように注意してください。

・(図9B)－ポッド用のフィルター(13)をフィルターホルダー(10)にセットします。
・(図11)－抽出部(6)へフィルターホルダーをはめてください。
・(図12)－フィルターホルダーをこれ以上回らないところまで、左から右へ回してください。(持ち手は、ほぼ前面にきます)
・(図14)－少量の水がフィルターホルダーから出てくるまで、抽出ダイヤル(16)を"☕"の位置に回してください。こうすることによりフィルターホルダーを温めます。最初にコーヒー抽出する際には、この作業を行うことをお勧めします。
・50cc程度の水が出たら抽出をやめるために、抽出ダイヤル(16)を"●"の位置に戻してください。
・(図16)－フィルターホルダーを右から左に回して、マシンから外してください。そしてフィルターホルダーに残った水を捨てます。ポッド用フィルター(13)を交換する必要はありません。
・(図9B)－ポッドコーヒーをフィルターホルダーに置き、ポッドコーヒーの紙がフィルター内にきちんと収まっていることを確認してください。
・(図11)－抽出部(6)へフィルターホルダー(10)をはめてください。
・(図12)－フィルターホルダーをこれ以上回らないところまで、左から右へ回してください。(持ち手は、ほぼ前面にきます)
・あらかじめ温めておいた１つのカップをフィルターホルダーの下へ置きます。；それが抽出穴の下に正しく置かれていることを確認してください。
・(図14)－抽出ダイヤル(16)を"☕"の位置に回します。
・お好みのエスプレッソ(コーヒー)の量が抽出されたら、抽出を止めるために抽出ダイヤル(16)を"●"の位置に戻してください。
・(図16)－抽出し終わってから数秒待って、フィルターホルダーを左に回して取り外し、使用済のポッドコーヒーを捨ててください。

注意　クリーニング：フィルターホルダーをマシンから取り外し、飲料水(図17)で洗います。フィルターホルダーとポッド用フィルターを綺麗に水洗いしてください。

6　コーヒーを選ぶために

本製品は一般に入手可能な様々なコーヒーを使用することが可能です。コーヒーは生産地やブレンドによって風味の変化があります。より、お客様好みの風味を見つけていただくために、様々なコーヒーを試されることをお勧めします。但し、一般的にはエスプレッソマシン用のブレンドが最適です。コーヒーはフィルターホルダーの上から漏れることなく、抽出穴から抽出しなければなりません。抽出のスピードはコーヒー量や挽き粗さを変えることによって修正することができます。
Saecoはおいしいコーヒーのために、また、より簡単な抽出準備とクリーニングのために、ESE(Easy Serving Espresso)とマークされたコーヒーポッドのご利用をお勧めいたします。

スチーム・給湯ノズル(パナレロ)を使用する前に、ノズルの先がドリップトレイに向いていることを確認してください。

7　給湯

ヤケドの危険！ スチーム・給湯ノズルからお湯が出始めるときに、少量の湯が噴出することがあります。ノズルの近くに手など置かないでください。

・(図3)－電源ボタン(2)を押します。
・コーヒー温度ランプ(14)が点灯するまで、お待ちください。点灯：準備が完了しました。
・(図18)－スチーム・給湯ノズル(パナレロ)の下に容器またはコーヒーカップを置きます。
・(図5)－スチーム・給湯ノブ(4)を左に回して開いてください。
・(図6)－抽出ダイヤル(16)を"☕"の位置に回します。
・お望みの湯量が出てきたら、抽出ダイヤル(16)を"●"の位置に戻してください。
・(図5)－スチーム・給湯ノブ(4)を右に回して閉めます。
・お湯の入った容器もしくはカップを外します。

8　スチーム／カプチーノ

ヤケドの危険！ スチーム・給湯ノズルからスチームが出始める時に、少量の湯が噴出することがあります。ノズルの近くに手などを置かないでください。

・(図3)－電源ボタン(2)を押します。
・コーヒー温度ランプ(14)が点灯するまで、お待ちください。
・(図19)－抽出ダイヤル(16)を "♨" の位置まで回します。
・スチーム温度ランプ(15)が点灯するまでお待ちください。点灯：スチームを使用する準備ができました。
・(図18)－スチーム・給湯ノズルの下に容器を置きます。
・(図5)－スチーム・給湯ノブ(4)を開き、製品内部に残っている水分をスチーム・給湯ノズルから出します。スチームのみが安定して噴出するまで行ってください。
・スチーム・給湯ノブ(4)を閉じて、容器を取り外します。
・カプチーノを入れたいカップの1/3程度まで、冷たいミルクを入れてください。

より良いミルクフォームのために、冷たいミルクを使用されることをお勧めします。

・(図20)－スチーム・給湯ノズルをミルクに浸し、スチーム・給湯ノブ(4)を左に回して開いてください。カップの中のミルクが均等に温まるようにミルクの液面が上がってくるのと連動して、ノズルの先端を浅く押し込んでいる状態を保ち、カップをゆっくり回します。

スチームの連続使用は60秒程度をお勧めします。

・ミルクフォームができたらスチーム・給湯ノブ(4)を閉じ、カップを外してください。
・(図19)－抽出ダイヤル(16)を"●"の位置に回します。

二つのランプが点灯している場合は、製品内部が高温に達しています。コーヒー抽出を行うために、項目4.5に記載されてる通り、空気抜きを行ってください。

注意：コーヒー温度ランプ(14)が点灯している時は、コーヒーを抽出できます。

注意：記載の通りにカプチーノを入れることができなかった場合は、項目5に従ってマシンの準備を始めから行ってください。

上記と同じ操作で、その他の飲み物を温めることもできます。(その場合は温めたい飲み物へノズルを深めに差し込んでください)

・この操作の後は湿らせた布巾で、スチーム・給湯ノズルを拭いて掃除してください。

9　スチーム・給湯ノズル（パナレロ）

スチーム・給湯ノズルはお湯を抽出したり、ミルクフォームを泡立てるために使用します。

スチーム・給湯ノズルを(7)装着する前に、カプチナトーレを取り外してください：

－カプチナトーレ上部のネジを外さないように緩めてください。

－カプチナトーレをネジごと引き抜きます。

スチーム・給湯ノズルを装着します：

－スチーム・給湯ノズルを金属のL字上まできちんと差し込んでください。

－上部のネジを締めてください。

給湯、またはスチームを使用するために項目7と8の記載の通り、準備をします。

スチーム・給湯ノズルを使用後は、製品が十分冷めてからスチーム・給湯ノズルを取り外し、ぬるま湯で洗ってください。

(図22－23)－一週間に一度は、スチーム・給湯ノズル全体を取り外し、分解してぬるま湯で洗ってください。

10　カプチナトーレ

全ての製品にカプチナトーレが同梱されています。
カプチナトーレがあれば簡単に手早く、おいしいカプチーノを作ることが可能です。

カプチナトーレの装着は以下の記載に従ってください。

1　カプチナトーレを装着するには、まず、スチーム・給湯ノズル(パナレロ)を外します。13ページ11項クリーニングのスチーム・給湯ノズルの全体の洗浄と、図21・図23を参照してください。

2　(図29)－カプチナトーレの上部のネジを緩めてください。

3　カプチナトーレを金属のノズルのL字の上まできちんと差し込んでください。

4　(図30)－上部のネジを締めてください。
カプチナトーレを使用するために関連項目の記載の通り、マシンを準備してください。

(図31－32)カプチナトーレを使用する前に、必ず飲料水で洗浄することをお勧めします。
カプチナトーレのミルクチューブを水の入った容器に差し込み、少量のスチーム(関連項目を参照ください)を噴出させてください。
この方法でカプチナトーレをきれいにすることができます。

i カプチナトーレやミルクチューブをきれいにするために、きれいな飲料水を使用してください。

マシンを準備している間、ミルクを入れた特別な容器準備するか、牛乳パック(500ml)をマシンのそばに置いてください。

・(図33)ミルクチューブをミルクの液面に深く差し込んでください。
・(図34)－項目8の記載通り、スチームを噴出させます。ミルクフォームの泡立ちを調節するために抽出ピンを回しながら上下に動かしてください。
抽出ピンはゆっくり動かした方が効果的です。
・カプチナトーレを使用した後、新鮮な飲料が入った容器の中にミルクチューブを差し込み、スチームを噴出させてください。きれいな水が排出されたら、カプチナトーレの洗浄は終了です。湿らせた布巾でミルクチューブの外側をきれいに拭いてください。

i カプチナトーレは取り外して、1週間に一度は分解洗浄してください。

次の記載通り、分解洗浄を行ってください。：

・(図35)カプチナトーレを本体から引き抜きます。
・カプチナトーレを真中から分解してください。

⚠ 警告！ カプチナトーレがきちんと装着されていない時は、絶対にスチームを使用しないでください。

・(図36)－ぬるま湯によってカプチナトーレの各部品を洗います。特に内部から汚れが取り除かれたことを確認してください。

カプチナトーレの各部品を洗浄した後に、元のように組立て製品へ装着してください。

11　クリーニング

クリーニングを行う場合は必ず電源プラグを抜き、マシンが冷えてから行ってください。
・マシンを水に浸したり、各部品を食器洗い機で洗浄しないでください。
・アルコールや溶剤、および／または塩素などが入った洗剤は使用しないでください。
・水タンクは毎日水洗いをして乾燥させ、使用する日ごとに新鮮な飲料水を入れることをお勧めします。
・(図21－22)－ミルクをスチーミングした場合は、一日の終わりに必ずスチーム・給湯ノズル(パナレロ)の黒い筒部分を抜き取り、新鮮な飲み水で洗ってください。
・(図23)－週に一度は、スチーム・給湯ノズル全体を洗浄してください。
－スチーム・給湯ノズル(パナレロ)の外部の黒いプラスチックの筒部分を引き抜きます。
－上部のネジ部分(プラスチックの根本の部分)を緩めてください。
－スチーム・給湯ノズルの上部をネジごと取り外します。
－新鮮な飲料水で洗浄してください。
－湿らせた布巾でノズルの外筒部分を拭き、ミルク成分を全て取り除きます。
－スチーム・給湯ノズルの上部をはめます。
－緩めたネジ部分を締めてください。
スチーム・給湯ノズル(パナレロ)の外筒部分を再び装着してください。
・(図24)－毎日ドリップトレイを空にして水洗いしてください。
・湿らせた柔らかい布巾で製品を拭いてください。
・(図17)－フィルターホルダーを洗浄するために次の作業をしてください。：
－フィルターを取り除き、お湯で洗ってください。
－抽出ピンを外して、お湯で洗ってください。
－フィルターホルダーの内側をよく洗ってください。
・電子レンジやオーブンなどで、マシンおよび各部品を乾燥させないでください。

i 注意：フィルターホルダーは食器洗い機では決して洗わないでください。

12　除石灰

長時間ご使用されると製品内部に石灰成分が付着します。これを放置するとマシン内部が詰まり故障の原因となりますので、3、4ヶ月ごと、もしくはコーヒー抽出の線が細くなったら必ず行ってください。

i この作業を行うための除石灰剤としてサエコデカルリキッドをお勧めします。

⚠ 警告！ 除石灰剤として、絶対に酢は使わないでください。

・(図1)－水タンクを取り外して、一度空にします。
・(図2)－除石灰剤を水タンクに入れます。その上から飲料水を入れてください(水タンクの縁から2cm程度まで)。水タンクを本体にセットします。
(図3)－電源ボタン(2)を押して、製品の電源をONにします。
・(図4)－スチーム・給湯ノズルの下に容器を置きます。
・除石灰作業を行うには：(図5－6)スチーム・給湯ノブ(4)を開き、抽出ノブ(16)を"☕"の位置に回し、カップ一杯程度のお湯(除石灰剤)を排出します。
お湯(除石灰剤)の排出を停止するために抽出ダイヤル(16)を"●"の位置に戻し、スチーム・給湯ノブ(4)を閉じてください。
・(図3)－除石灰剤をより効果的にするために、お湯(除石灰剤)の排出間隔を約10－15分あけ、排出しないときは電源ボタンを(2)を押して電源をOFFにしてください。これを水タンクが空になるまで行ってください。
・(図1－2)－除石灰剤がなくなったら、水タンクを取り外して飲料水でよくすすぎ、新鮮な飲料水を入れてください。
・(図1)－水タンクをマシンに再度セットしてください。
・(図4)－スチーム・給湯ノズルの下に容器を置いてください。
・(図5－6)－内部をすすぐためにスチーム・給湯ノブ(4)を開き、水タンク2/3程度の水を排出します。抽出ダイヤル(16)を"☕"の位置に回してください。
排出を止めるには抽出ダイヤル(16)を"●"の位置に戻して、スチーム・給湯ノブ(4)を締めてください。
・上記記載のとおり、マシンを温め、水タンクを空にしてください。

i もし他社製品の除石灰剤を使用される場合は、そのメーカーの指示に従ってください。

13　廃棄

・今後、製品を使用しない場合は廃棄することをお勧めします。
・電源プラグをソケットから抜いて、電源コードを切断してください。
・製品は適当な廃棄業者に廃棄を依頼してください。

この製品はEU指令2002/96/ECに適合しています。

症状	原因	改善策
電源が入らない。	製品が電源に接続されていません。	電源プラグを製品に接続してください。
ポンプ(抽出音)が異常にうるさい。	水タンクに水がありません。	水タンクに水を入れてください。(項目4.4)
コーヒーがぬるい	抽出ダイヤル(16)を""の位置まで回している間、温度ランプ(14)が点灯していません。	コーヒー温度ランプ(14)が点灯するまでお待ちください。
	フィルターホルダーを事前に温めていない(項目5)	あらかじめフィルターホルダーを温めてください。
	カップが冷えている。	あらかじめカップをお湯で温めてください。
ミルクが泡立てられない。カプチーノの準備ができない。	製品にあったミルクではない:粉末ミルクや低脂肪など。	脂肪分3.6%以上で生乳100%の牛乳をお勧めします。
	スチーム・給湯ノズル(パナレロ)が汚れている。	項目9の記載のとおり、スチーム・給湯ノズル(パナレロ)を洗浄してください。
	製品内部のボイラーにスチームがない。	空気抜き(項目4.5)をし、項目8の操作を繰り返してください。
コーヒー抽出が異常に早い。クレマができない。	フィルターホルダー内のコーヒーがとても少ない。	粉末コーヒーの量を少し追加してください。(項目5)
	コーヒーの挽き粗さが粗い。	違うブレンドを試してみてください。(項目6)挽き粗さが細かすぎるので多少粗くしてください。ポッドコーヒーを変えてみてください。
	フィルターホルダーの部品が一つ不足している。	全ての部品がきちんと組み立てられ、製品に装着されていることを確認してください。
コーヒーが抽出されない。もしくはポタポタとしか出てこない。	水がない。	水タンクに水を補充してください。(項目4.4)
	コーヒーの挽き粗さが適切ではない。	挽き粗さが細かすぎるので多少粗くしてください。
	フィルターホルダー内のコーヒーが固まりすぎている。	タンパーなどで強くタンピングしないでください。計量スプーンの底などで平らにならす程度にしてください。
	フィルターホルダー内のコーヒーが多すぎる。	最大で計量カップすりきり2杯まで、それ以上粉を入れないでください。
	スチーム・給湯ノブが開いている。	スチーム・給湯ノブ(4)を締めてください。
	石灰成分が詰まっている。	マシンの除石灰をしてください。(項目10)
	フィルターが詰まっている。	フィルターを洗浄してください。
	ポッドが最適ではない。	ポッドコーヒーの種類を変えてみてください。
コーヒーがフィルターホルダーの縁から漏れる。	フィルターホルダーがきちんと抽出部にはまっていない。	フィルターホルダーを正しく装着してください(項目5)
	フィルターホルダーの上メッシュが汚れている。	フィルターホルダーの縁をきれいに拭いてください。
	ポッドコーヒーが誤ってセットされている。	ポッドコーヒーをフィルターホルダーからはみ出すことのないようにし、正しく入れてください。
	フィルターホルダー内のコーヒーが多すぎる。	粉末コーヒーの量を減らしてください。

上記記載のとおりに行っても解決されなかったり、何か他の問題が起こった場合には、弊社技術・流通センター(TEL:050-5525-7025)へご連絡ください。

EC適合宣言
EC2006/95、EC2004/118、
EC1992/31、EC1993/68

私達：

Saeco International Group
Via Torretta , 240
040041 GAGGIO MONTANO (BO)

弊社の責任の下、本製品を以下の製品と表示します：

エスプレッソコーヒーマシン
型式番号：SIN 026 X（ブラック）
型式番号：SIN 026 XC（クリーム）

この宣言がどれと関連しているかは以下の標準または他の標準の文書に準拠している：

・家族と電気の器具－一般的な要件－、EN60335-1（2002年）+A1（2004年）+A2（2006年）+A11（2004年）+A12（2006年）の安全
・家族と電気の器具－パート2-15－（加熱液体のための器具のための特定の要件）の安全－EN60335-2-15（2002年）+A1（2005年）
・家族の、そして同様な電気器具－電磁界－（評価と測定のための方法）EN50366（2003年）+A1（2006年）.
・電磁気の互換性（EMC）－家電製品、電動工具、および同様な装置のための要件－パート1排出 EN55014-1（2000年）+A1（2001年）+A2（2002年）。
・電磁気の互換性（EMC）－離別しなさい。3限界－セクション2：調和的な現在の排出のための限界（機器入力電流？（フェーズのための16A）－EN61000-3-2（2000年）
・電磁気の互換性（EMC）
パート3^：限界－セクション3：公的な最低水準の電圧変化、電圧変動、およびちらつきの制限－定格電流との機器のための電圧供給システム？ 16条件付きの接続への主題ではなくフェーズのためのA
EN61000-3-3（1995年）+A1（2001年）
・電磁気の互換性－－家電製品、電動工具、および同様な装置のための要件－、パート2。免疫－製品群標準EN55014-2（1997年）+A1（2001年）

指令の供給に続く：
EC73/23、EC89/336、EC92/31、EC93/68。

Gaggio Montano 05/07/2006

R&D
Ing. Andrea Castellani

 注意
新しいニーナ　フィルターホルダーは、一般的なプロフェッショナルマシンにならって製造しています。
コーヒーが二つの抽出口から抽出されるため、左右の抽出量のばらつきや一時の途切れがありますが、エスプレッソ本来の品質や、クレマには問題がございません。

 スチームをご利用の際の注意
スチーム切り替え準備中に、スチーム・給油ノズルやコーヒー抽出口より、マシン内に残っている水滴が出てくることがあります。
これは本製品の特性であり、特に異常ではありません。

日本サエコ株式会社

技術・流通センター：〒226-0022 神奈川県横浜市緑区青砥町385
TEL.050-5525-7025 FAX.045-938-5066
infor@saeco.co.jp　www.saeco.co.jp

意匠、仕様など改良のために予告なく変更することがあります。

2009 07